

東海岸サンライズベルト構想

- 概要版 -



令和3年3月

沖縄県

1. 構想の意義及び位置づけ

(1) 構想策定の意義

沖縄県においては、これまでの振興計画により着実に発展を遂げているものの、未だ県民所得は低く、貧困など数多くの課題を抱えている。一方で、西海岸地域は観光面において著しい発展を遂げているものの、東海岸地域までその影響が行き届いていない状況にある。

県土の均衡ある発展に向けては、東海岸地域にもう一つの南北に伸びる経済の背骨を形成し、強固な経済基盤を構築することが重要である。

沖縄の更なる発展を強固のものとするためには、東海岸地域の強みを生かし、西海岸地域と連携・役割分担を図りながら、広域的な観点から、東海岸地域の活性化・発展に向けた新機軸が必要となる。

本構想は、沖縄の更なる発展に資するため、はじめて、沖縄本島東海岸地域に着目し、今後10年の新たな振興計画に向け、東海岸地域の活性化・発展を推進するための方向性を示すものである。

(2) 構想策定の背景

平成24年に策定した「沖縄21世紀ビジョン基本計画」では、各圏域において、東海岸地域の振興の方向性を記載し、同計画に基づき、沖縄振興の施策展開を推進している。

令和4年度からの新たな振興計画は、沖縄21世紀ビジョン基本計画等総点検の結果や新沖縄発展戦略を踏まえるとともに、社会経済情勢の変化に対応することが求められている。

令和2年3月に新沖縄発展戦略有識者チームがとりまとめた「新沖縄発展戦略：新たな振興計画に向けた提言」において、新たな振興計画に向けた重要事項のひとつとして、「東海岸サンライズベルトの発展戦略」が示されている。

令和2年度、「東海岸サンライズベルト構想検討委員会」を設置するとともに、北部5市町村の意見も踏まえ、東海岸サンライズベルト構想をとりまとめた。

(3) 構想の位置づけ

東海岸サンライズベルト構想は、県全体の発展を見据えた広域的な観点から、県や市町村等が連携し、推進するものである。

市町村等の意見を踏まえた本構想については、東海岸地域の発展に向けた広域的観点から、令和4年度以降の新たな振興計画に盛り込むとともに、県の関係する計画や関係する市町村の関連計画において整合性を図る必要がある。

2. 捉えるべき社会動向

(1) SDGs

国際連合では、2030年までに達成すべき目標として、「誰一人取り残さない社会」の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題に統合的に取り組むべく、持続可能な開発のための17の国際目標となるSDGsを示している。

沖縄県では「沖縄21世紀ビジョン」の将来像の実現に向け、SDGsを推進し、新たな時代に対応した持続可能な沖縄の発展を目指すこととしている。



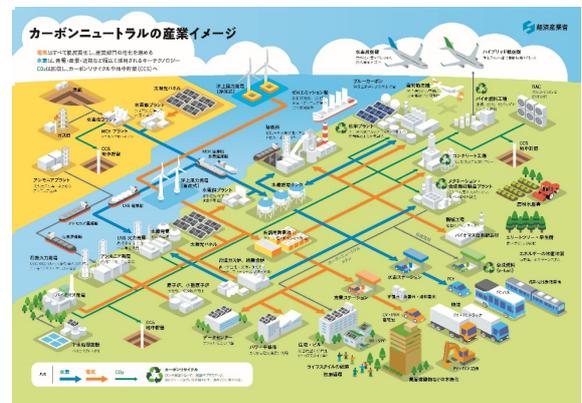
持続可能な開発目標 (SDGs)

出典：国連広報センターHP

(2) パリ協定・カーボンニュートラル

2015年12月、UNFCCC第21回締約国会議(COP21)においてパリ協定が採択され、世界全体の平均気温の上昇を産業革命以前に比べて2°Cより十分低く保つとともに、1.5°Cに抑える努力を追求することが示された。こうした背景のもと、スマートシティやグリーンインフラストラクチャーといった環境共生都市など持続可能な社会への関心が高まっている。

さらに、2020年10月、日本政府においては、「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言した。



カーボンニュートラルの産業イメージ

出典：経済産業省

(3) 新技術・イノベーション

仮想空間と現実空間が融合するSociety5.0の社会の実現に向け、今後展開されるAIやIoT、ロボット、ビッグデータの活用等が急速に進展し、新たなサービスの展開及び多くの産業で高効率化や合理化が進み、大きな変化が起これと予想される。

IT技術の発展により、自動運転の技術の実証実験の展開やMaaSにみられるように人の移動にも変革が起き始めている。

(4) ポストコロナ時代

新型コロナウイルス感染症の流行が世界規模で拡大している中、経済機能等の一極集中や都心部における過密状態が課題として改めて認識されている。また、テレワーク等のリモートサービスの拡大により、職住近接や地方への移住等、働き方や住み方に対する国民の意識が変化しており、地域の強みを最大限に活かしつつ、「Withコロナ時代」のニューノーマルに対応したまちづくりを総合的かつ戦略的に展開していくことが重要となっている。

3. 東海岸地域の発展可能性

(1) 発展可能性

中南部都市圏の東海岸地域においては、国際物流拠点の形成、今後の大型 MICE 施設の立地など経済発展の大きな可能性を有しており、東海岸地域にもう一つ南北に伸びる経済の背骨を構築することにより、西海岸地域と連携を図りながら強固な経済の形成が期待できる。

世界遺産に登録されている斎場御嶽・中城城跡・勝連城跡等の歴史資源や、架橋で結ばれた平安座島をはじめとした島々や海中道路、航路で結ばれた久高島や津堅島など個性豊かな島しょ地域も存在する。

中城湾港西原与那原地区（マリンタウンエリア）において、今後、大型 MICE 施設を中心とした賑わいのある豊かなまちづくりが期待されており、東部海浜開発地区において、スポーツコンベンション拠点およびビーチフロント観光の形成に向けた取組が進められている。

また、沖縄 IT 津梁パークや国際物流拠点産業集積地域うるま・沖縄地区を中心に、情報通信関連企業・先端企業、臨空・臨港型産業の集積が進んでいる。さらに、那覇空港自動車道と直接連結する南部東道路の沿線やインターチェンジ周辺では、高まる産業用地の需要を踏まえ、企業立地の受け皿となる産業用地確保の検討が進められている。

北部圏域において、貴重な動植物が生息する自然環境や情報通信関連産業や金融関連産業の集積、スポーツキャンプ等に対応した施設などの強みを生かし、東海岸地域の自然環境や産業拠点を含めた南北に伸びる広域的な産業振興や観光振興の展開が期待できる。

(2) 東海岸地域の強み・生かすべき特性

①東海岸地域の魅力となるスピリチュアル・ゆったり・スポーツ

- ・世界遺産（斎場御嶽、中城城跡、勝連城跡）や東御廻い拝所巡礼、神の島久高島等の東海岸地域に点在するスピリチュアルなスポット
- ・津堅島などの個性豊かな島しょ地域、ゆったりとした自然環境や生活空間の特性を活かし、滞在スタイルの変化に対応した個性豊かなツーリズムの展開可能性
- ・沖縄県総合運動公園等のスポーツ拠点、東海岸地域の歴史文化資源や観光資源といった地域の魅力をつなぐマラソン大会やサイクルツーリズムの推進などスポーツ観光誘客の展開
- ・環金武湾地域におけるギンバル跡地のスポーツ・リハビリ拠点やスポーツキャンプ等に対応した施設
- ・世界自然遺産登録を見据えた「やんばるの森」など貴重な動植物が生息する自然環境、田園風景、自然を生かした観光拠点



斎場御嶽



中城城跡



勝連城跡

出典：東部海浜開発計画

②MICE や海洋レクリエーション拠点

- ・大型 MICE 施設の立地予定のマリントウン MICE エリア、供用開始予定の沖縄アリーナ等、スポーツや音楽をはじめとする大型イベントを開催できる交流拠点
- ・中城湾港（与那原マリーナ、東部海浜開発地区、中城湾新港）におけるクルーズ船やスーパーヨットの受入拠点、ビーチやマリーナなどの海洋レクリエーション拠点の形成



沖縄アリーナのイメージ
出典：沖縄県観光ポータルサイト



MICE エリア全体のデザインコンセプト
出典：マリントウン MICE エリアまちづくりデザイン

③中城湾港を中心に形成された IT・産業振興拠点

- ・研究、開発、生産、処理機能が集積する中城湾港新港地区工業団地、及び中城湾港新港地区の産業支援港としての港湾機能
- ・中城湾港新港地区をはじめ情報通信関連企業、先端企業、臨空・臨港型産業の集積
- ・沖縄 IT 津梁パーク等の情報通信産業拠点施設及びアジア地域及び日本本土とつながる沖縄国際情報通信ネットワーク・クラウドネットワーク
- ・環金武湾地域における IT オペレーションパークや名護市のマルチメディア館・みらい館などの情報通信関連産業・金融関連産業拠点



中城湾港新港地区工業団地の概要
出典：沖縄県企業立地ガイド



沖縄 IT 津梁パークの概要
出典：中城湾港新港地区立地企業紹介

(3) 東海岸地域に求められる方向性

東海岸地域の発展可能性や強み・特性を生かし、産業・観光等において様々な地域資源を活用、発展させながら、東海岸地域一帯に本県の発展を更に促す西海岸地域と対をなす経済軸として、輝きを放つ。

東海岸地域の自然環境や産業拠点を含めた南北に伸びる広域的な産業振興や観光振興の展開のため、中南部圏域と北部圏域が連動して展開することにより、相乗効果が期待される。

4. 基本方向

(1) 基本的な考え方

○県土の均衡ある持続可能な発展

～東海岸地域の魅力・強みを生かし、西海岸地域と有機的につながる～

県土の均衡ある持続可能な発展に向け、東海岸地域の魅力・強みを生かし、西海岸地域と有機的につながり、東海岸地域において南北に伸びるもう一つの強固な経済基盤を構築する。

特に、北部地域も含め、東海岸地域は自然や歴史がとても豊富であり、自然等の活用が重要である。無秩序な開発が広がることで本来守るべき自然資源や歴史資源が失われることなく、自然環境の保全と開発のバランスを保ちつつ、地域の個性や特長を伸ばし、自然災害や感染症など様々な災害等にしなやかに対応する力強い地域圏を形成することが重要である。

また、将来の人口減少等を見据えた魅力ある地域づくりを推進するため、地域ニーズに応じた子育てしやすい環境づくりや高齢者社会の対応、新たな公共交通など、住みよいまちづくりを推進することが重要である。

加えて、ポスト・コロナの時代に対応し、就労・居住しやすい環境を整備するため、次世代型行政サービスやコンタクトレスなどのスマートシティに向けた取組が重要である。

(2) 目指す姿

「新時代に対応し、新たな価値を創造する『住む、働く、遊ぶ』を満たす快適空間（エリア）の先導地域」

「新時代」とは、SDGs、IT技術の進化、ポストコロナ時代の新たな生活スタイルなど、社会経済情勢の変化に的確に対応することを意味する。

「新たな価値の創造」とは、東海岸地域の強みや歴史・文化、自然環境、スポーツなどソフトパワーを生かし、イノベーター等とともに、新たな技術の開発、実証することで新たな価値を生み出し、観光、IT、ものづくり、物流をはじめ様々な産業の活性化や高付加価値化が図られ、県民所得の向上、貧困解消といった課題解決につながることを意味する。

「『住む、働く、遊ぶ』を満たす快適空間」とは、新型コロナウイルス感染症の拡大等により、働く場所を選ばないテレワークやワーケーションが注目されており、地域住民や観光客をはじめ、住む、働く、遊ぶの快適な空間が形成され、多様な関係人口や地域の活動人口注が増加し、国内外の人材（ビジネス・スポーツ・こどもたち等）など活発に活動する魅力的な地域であることを意味する。

「先導地域」とは、SDGsを踏まえた持続可能な質の高い観光や新技術の導入によるスマートシティの形成など、夢のある先導地域として、東海岸地域のみならず、西海岸地域や離島などの県全体に波及し、さらに、日本経済への貢献や海外を含めた社会課題解決に資することを意味する。

(3) 構想全体のコンセプト

西海岸地域と対をなす新たな経済の背骨の形成に向けては、西海岸地域と異なる東海岸地域の強みを発揮する必要がある。

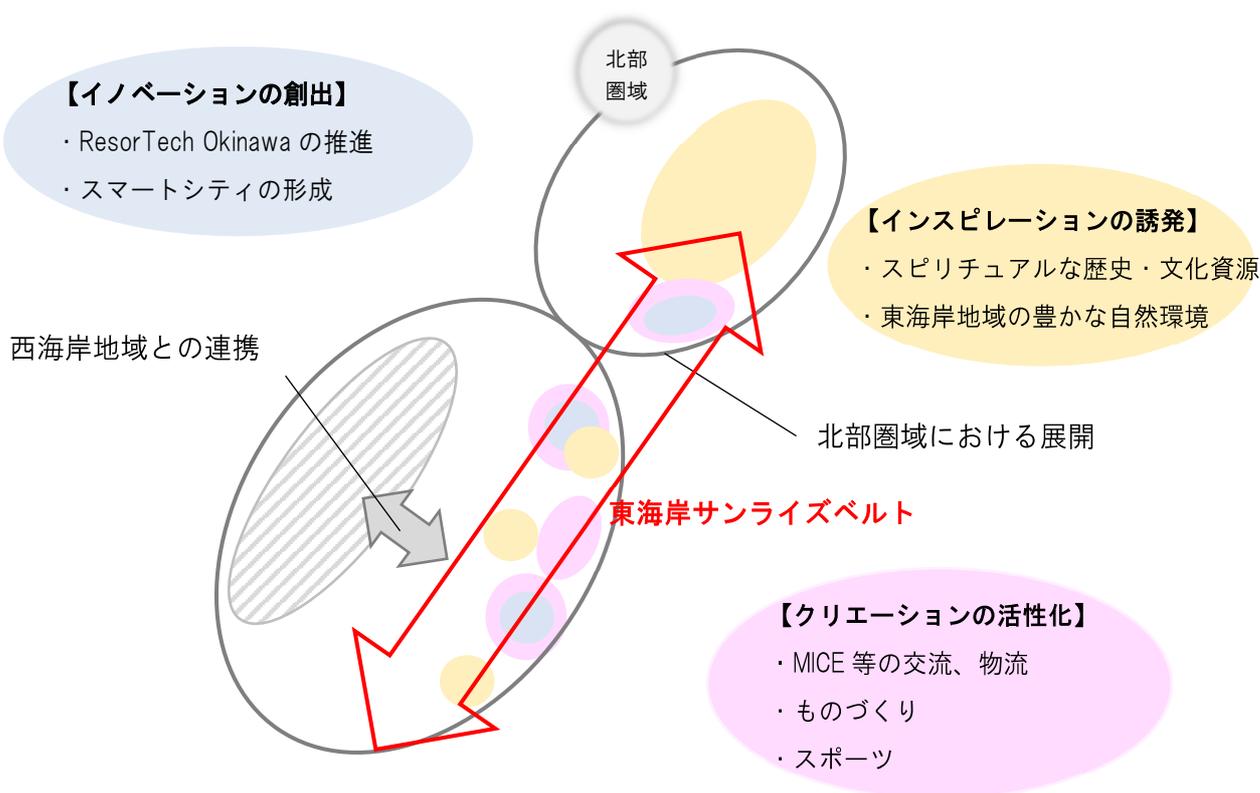
西海岸地域においては、各種レクリエーション施設、リゾートホテル等が立地し、都市近郊型のビーチリゾートが形成されており、『サンセット』を望む地域として、「娯楽・レクリエーション」がキーワードになると考えられる。

東海岸地域においては、『サンライズ』を望む地域であることから、「始動・目覚め（再起動・リブート）」、「健康・活力」「交流・創造」をキーワードとした、以下のコンセプトとする。

東海岸サンライズベルトの全体コンセプト

「インスピレーションの誘発、クリエイションの活性化、イノベーションの創出」

- ・世界遺産となっているスピリチュアルな歴史文化資源と沖縄特有のゆったりした自然環境により、ひらめきや新たな刺激を誘発するインスピレーションな地域
- ・世界との架け橋となる MICE 等の交流や物流、スポーツ、ものづくりにより、人やモノの活動が活性化するクリエイションな地域
- ・ResorTech Okinawa の推進やスマートシティの形成などにより、新たな価値を創出するイノベーションな地域



【基本的な考え方】

県土の均衡ある持続可能な発展

～東海岸地域の魅力・強みを生かし、西海岸地域と有機的につながる～

【目指す姿】

新時代に対応し、新たな価値を創造する

「住む、働く、遊ぶ」を満たす快適空間(エリア)の先導地域

【全体コンセプト】

【東海岸地域のキーワード】

『サンライズ』を望む地域

- 「始動・目覚め
(再起動・リブート)」
- 「健康・活力」
- 「交流・創造」

○世界遺産となっているスピリチュアルな歴史文化資源と沖縄特有のゆったりした自然環境により、ひらめきや新たな刺激を誘発する

インスピレーションな地域

○世界との架け橋となるMICE等の交流や物流、スポーツ、ものづくりなどによる人やモノの活動が活性化する

クリエイションな地域

○ResorTech Okinawaの推進やスマートシティの形成などにより、新たな価値を創出する

イノベーションな地域

【構想実現のための展開】

(1) 良好な居住環境とともに、歴史・自然資源と産業
・観光振興が調和する土地利用の展開

- ・良好な居住環境の整備
- ・都市基盤の整備、経済基盤の強化
- ・広域的かつ計画的な土地利用の展開

(2) 東海岸地域の魅力を生かした観光の展開

- ・中城公園など観光エリア拠点の形成
- ・世界遺産など地域の魅力を生かした持続可能な観光
- ・ソフトパワーを生かした沖縄にしかないワーケーション展開

(3) スポーツコンベンション地域の形成

- ・スポーツコンベンション拠点の形成
- ・スポーツツーリズムの推進

(4) マリントウン MICE エリアを核とした東海岸地域の活性化

- ・マリントウンMICEエリアの形成
- ・東海岸地域の資源を生かした体験プログラム等の展開

(5) IT イノベーション拠点の形成

- ・ResorTech Okinawaの推進(デジタルトランスフォーメーション等の促進)
- ・新技術の実証の先行地域としての活用
- ・ワーケーションを展開するIT拠点の形成

(6) 港湾や空港とつながる産業集積拠点の形成

- ・企業誘致・県内企業の高度化の促進
- ・中城湾港新港地区、南部東道路等を活かした拠点形成
- ・高付加価値な企業の集積や研究開発の推進

(7) サンライズポートの形成(港湾の物流・人流機能の強化・拡充)

- ・産業支援港としての港湾機能の拡充・強化
- ・流通拠点としての安定的・効率的な物流環境の創造
- ・多彩で高付加価値の観光・交流拠点の形成
- ・ブランド価値を生む親水空間の提供

(8) 円滑な交通ネットワークの形成

- ・中城湾沿岸の産業集積地域等を結ぶ幹線道路の拡充
- ・基幹道路整備による西海岸地域との連携強化
- ・那覇港と中城湾港新港地区を結ぶ物流道路
- ・地域拠点を結ぶ広域的な公共交通の充実・強化

【北部圏域における展開】

- ・やんばるの森などを生かした滞在型観光の推進や拠点形成
- ・スポーツ・リハビリ拠点の形成
- ・情報通信等関連企業集積地のビジネス展開
- ・子育てしやすい住み良いまちづくり
- ・円滑な交通ネットワークの構築

5. 構想実現のための展開

(1) 良好な居住環境とともに歴史・自然資源と産業・観光振興が調和する土地利用の展開



【主な内容】

- 東海岸地域では都会の喧騒から離れ、豊かな自然環境と近接するゆとりある地域特性を有しており、これらの地域特性を生かし、良好な居住地の形成を図る。さらには、スポーツ施設や沖縄こどもの国等が立地する強みを活かし、子育てしやすい良好な住環境を形成するとともに、超高齢社会や将来の人口減少に対応した持続可能なまちづくりを推進する。
- 中城湾港新港地区周辺をはじめ既存の工業地周辺や幹線道路沿道においては、物流倉庫等の物流関連企業用地や商業施設をはじめとした施設用地の需要が高まっており、これらのニーズに対応した農村集落環境や自然環境と調和のとれた土地利用を図りつつ、良好なまちづくりの前提となる下水道や都市公園の整備の推進などの都市基盤の整備や停電しにくい環境づくりを含め経済基盤の強化を促進する。
- 東海岸地域は、市街化調整区域の占める割合が大きいが、市街化区域に産業用地、住宅地の確保が困難になっていること等から、保全と開発の両立を図りながら、産業振興・観光振興及び良好な居住環境づくりに資する土地利用を広域的かつ計画的に展開する。

(2) 東海岸地域の魅力を生かした観光の展開



【主な内容】

- 中城城跡や勝連城跡を核とし、沖縄の歴史、文化、自然を体験、学習できる公園整備など観光エリア拠点の形成を図るとともに、世界遺産など地域の魅力を生かした観光の展開を図る。
- 広域連携による、祭りや伝統芸能等の体験型ソフト事業の取り組みや DMO (Destination Management/Marketing Organization) 等の専門性の高い組織との連携により、東海岸地域の観光周遊の広域化を図る。
- 東海岸地域のポテンシャルを最大限に活かし、移住者の増加や従来と異なる新たな観光客層を獲得するため、良質なオープンスペースやゆとりある歩行者空間を確保したウォークブルなまちづくりを推進するとともに、東海岸地域に点在する自然環境やソフトパワーを活用した沖縄にしかないワーケーションの展開に取り組む。

(3) スポーツコンベンション地域の形成



【主な内容】

- 東海岸地域における東部海浜開発地区「潮乃森」をはじめスポーツコンベンション拠点の形成を推進する。

- 沖縄県総合運動公園や吉の浦公園などの総合スポーツ施設や点在するビーチ周辺の宿泊施設などと連携を図りながら、トップアスリートにも対応可能な機能を有する施設整備や、プロスポーツチームの合宿や学生、社会人におけるクラブ活動の誘致など、長期滞在型の多様なスポーツツーリズムの実現に向けた施策展開を図る。

(4) マリントウン MICE エリアを核とした 東海岸地域の活性化



【主な内容】

- 中城湾港西原与那原地区（マリントウン地区）に、国際会議に対応可能な会議場及び大規模展示会に対応可能な展示場を備えた大型 MICE 施設の整備に向けた取組を推進し、宿泊施設や商業施設の立地促進や施設利用者の交通利便性の確保、オープンスペースの賑わいやスマートシティの形成など、MICE を中心とした魅力あるまちづくりに取り組む。
- 多様で魅力的な交流機会の創出のため、MICE 参加者・同伴者と地域を繋ぐイベントなどの開催、沖縄キリスト教学院大学等による通訳・翻訳等の MICE に関連した人材育成、東海岸地域に点在する観光資源や、スポーツ施設、自然環境などを活用した体験プログラムの提供を図る。

(5) IT イノベーション拠点の形成



【主な内容】

- リゾート地沖縄をテクノロジーで支え、情報通信関連産業と観光業や農業、製造業、医療、交通など他産業との連携による沖縄モデルのデジタルトランスフォーメーション等を促進する取組「ResorTech Okinawa」を推進する。
- 東海岸地域において、一層の企業集積や新技術の社会実装の促進に向けて、IT 産業の集積やこれまで整備された基盤等を生かし、新技術の実証の先行地域としての展開を図る。
- 東海岸地域において、IT 津梁パークを中心とした基盤や、世界遺産などを活かし、新技術の社会実験やソフトウェアの開発に取り組みながら、快適に滞在できるような、ワーケーションの拠点形成を図る。

(6) 港湾や空港とつながる産業集積拠点の形成



【主な内容】

- 中城湾港周辺では、ポテンシャルの高い立地を活かし、県内随一のイノベーション拠点、新たな技術の実証実験の先行地区として、新たな産業の中心となることが期待される。また、南部東道路や小禄道路、那覇北道路の整備により、那覇空港及び那覇港等と東海岸地域区間のアクセスが飛躍的に向上することから、那覇空港や那覇港と有機的につながる臨空・臨港型産業の集積等も期待される。

- 健康医療・バイオ等分野に加え、環境技術、スマートプラスチック、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた環境に対して負荷の少ない再生可能エネルギーや次世代エネルギーの研究開発等を推進することで、SDGsの理念である持続的な社会の構築に寄与することが期待される。
- アジアへ展開する高付加価値な先端企業の集積や環境配慮に対応した研究開発等を推進するとともに、企業誘致や県内企業の高度化を促進する新たな産業用地の確保を検討し、産業用地確保に向けた取組を支援するなど、臨空・臨港型産業の拠点形成を図る。

(7) サンライズポートの形成 (港湾の物流・人流機能の強化・拡充)



【主な内容】

- 中城湾港は、東海岸地域の物流・産業拠点、交流拠点を担う重要な経済基盤であり、物流・人流機能の強化・拡充を推進する。
- 東海岸地域の産業支援港湾として機能の拡充・強化を図るとともに、那覇港との機能分担や有機的連携を推進し、両港の強みを活かすことで、海上輸送貨物の流通拠点として安定的・効率的な物流環境の創造に取り組む。
- クルーズ船やスーパーヨットの受入拠点として、ウォーターフロント空間の形成や東部海浜開発事業の推進等により、多彩で高付加価値の観光・交流拠点の形成やブランド価値を生む親水空間の提供に取り組む。

(8) 円滑な交通ネットワークの形成



【主な内容】

- 体系的な幹線道路網であるハシゴ道路ネットワークの構築に向けて、本島南北軸である国道329号南風原バイパス、与那原バイパス、西原バイパスの整備を促進するとともに、東西軸である南部東道路、浦添西原線などの整備を推進する。
- 物流の強化や災害に強い県土づくりに向け、中城湾沿岸の産業集積地域等を結ぶ新規幹線道路の整備に向けた取組を推進する。
- 地域公共交通については、市町村において運行されている地域コミュニティバス等の地域交通の持続的な運用や利便性の向上に加え、東海岸地域の市町村における連携・強化による広域的な展開を推進する。
- 大型MICE施設と地域拠点を結ぶモノレールやLRT等を含む円滑な公共交通システムの構築や交通情報をリアルタイムで取得できる公共交通のスマート化等についても検討する。
- 低炭素社会の実現に寄与するため、自家用車から公共交通や新しいモビリティへの利用転換を推進する。また、自転車通行空間の安全性確保やシェアサイクルの導入促進等、都市交通システムにおける交通手段として自転車利用環境の向上を図る。

6. 構想実現のための北部圏域における展開

(良好な居住環境とともに歴史・自然資源と産業・観光振興が調和する土地利用の展開)

- 沖縄自動車道の整備等によりアクセス性が向上し、中南部地域において就業している人も多く、中南部地域との連携・役割分担を図りながら、良好な居住環境を充実させていくことが重要である。
- 西海岸地域にはない田園風景や、手軽に自然と触れ合える環境を有しており、環金武湾地域におけるネイチャー未来館などの拠点を生かし、農業体験、民泊の観光誘客のみならず、県内外のこどもの学びの場として、東海岸地域ならではの魅力ある子育てしやすい住み良いまちづくりを推進する。

(東海岸地域の魅力を生かした観光の展開)

- 多種多様な固有動植物及び希少動植物が生息・生育するやんばる国立公園の自然世界遺産登録を見据え、自然の保全と調和した持続可能な付加価値の高い観光が求められている。
- 世界自然遺産の登録を見据え、ガイドのルールづくりや観光客の受入環境体制の構築が重要であり、東村をはじめ世界自然遺産の東側の玄関口の機能の構築が期待される。
- 近年、ニーズが高まっているグランピングの推進や、いちご狩りなどの農業と観光を生かした6次産業化の展開を推進するとともに、ITを活用したデジタル化により、国内外の人とつながり、リピーターやEコマース等を含めた持続的な観光展開が期待されている。
- 北部圏域の東海岸地域においては、自然・文化・農業・漁業体験を軸として、グリーン・ブルーツーリズムや民泊を推進するとともに、新たな生活様式に対応したワーケーション等を推進する。
- 通過型観光から滞在型観光への質の転換が重要である。このため、ガイドによる森林ツーリズムや、星空ツーリズムなどの観光展開を図るとともに、村民の森つつじエコパーク、道の駅ぎのざやネイチャー未来館などの各地域拠点を活用するとともに、現在、整備中である国頭村の東部周遊拠点、東村の慶佐次通信所跡地と五味観光跡地の利用計画、名護市のわんさか大浦パークの機能強化等、やんばるの森などを生かした観光拠点の形成を図り、滞在型観光を推進する。

(スポーツコンベンション地域の形成)

- 北部圏域の東海岸地域では、金武町や宜野座村においてプロスポーツのキャンプが行われている。国頭、東村、名護市においては、ツールドおきなわ等のサイクリングや自然を生かしたカヌーなどのスポーツツーリズムが行われている。
- 東海岸北部地域の自然環境やスポーツ施設を生かし、スポーツツーリズムを推進するとともに、環金武湾地域のギンバル訓練場跡地においては、「健康と癒し」をテーマに、スポーツ施設に加え、地域医療施設及びリハビリ関係施設が集積しており、国内外のスポーツキャンプやスポーツ選手のリハビリの受入が可能なスポーツ・リハビリ拠点の形成が重要である。

(マリンタウン MICE エリアから繋がる東海岸地域の活性化)

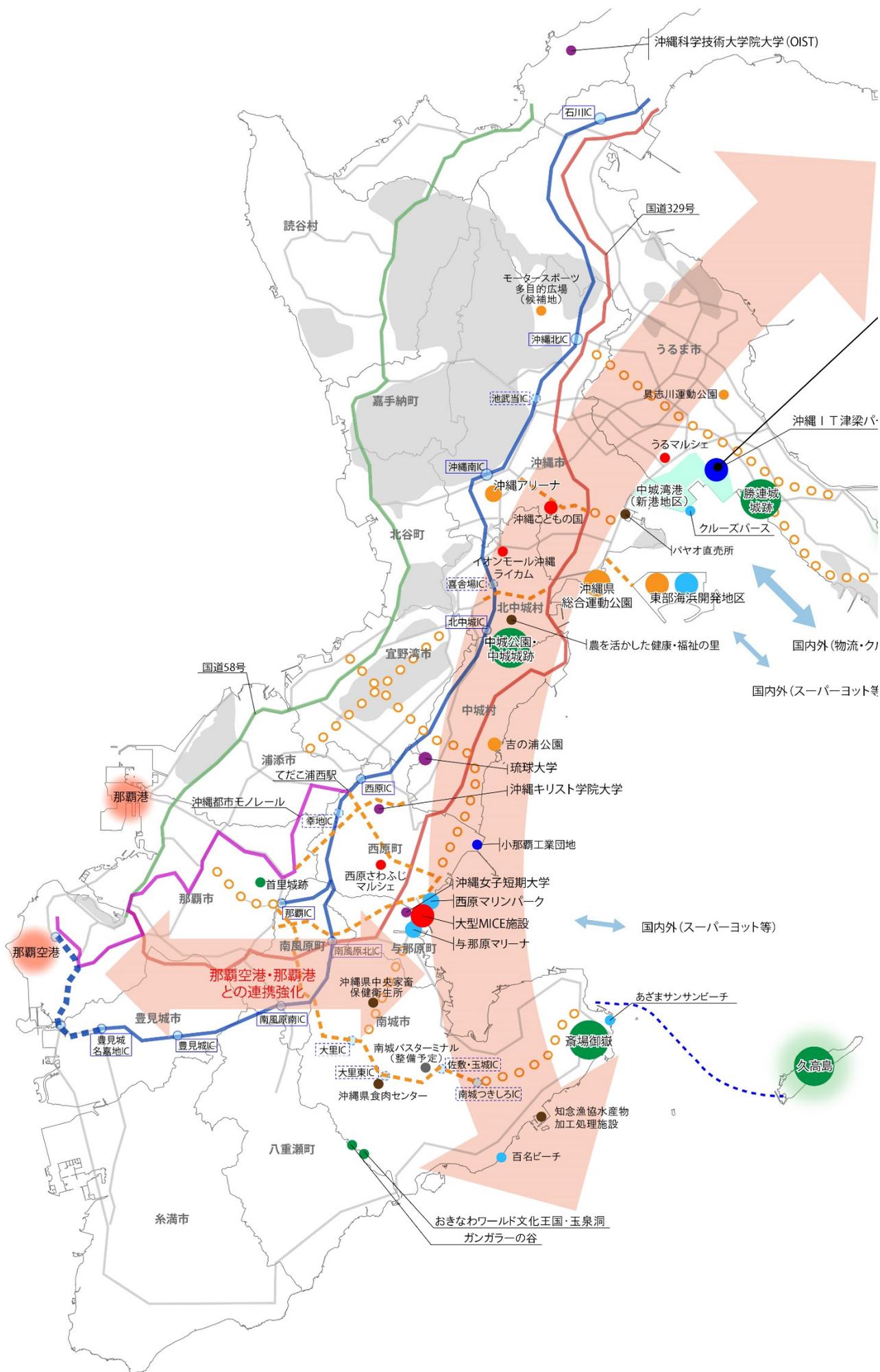
- MICE 等のビジネスツーリズムの推進において、北部圏域の魅力を誘客に活用することが重要である。多様な働き方に対応し、長期滞在にも繋がる周遊・体験プログラムの開発など、観光資源の連携強化を図る。

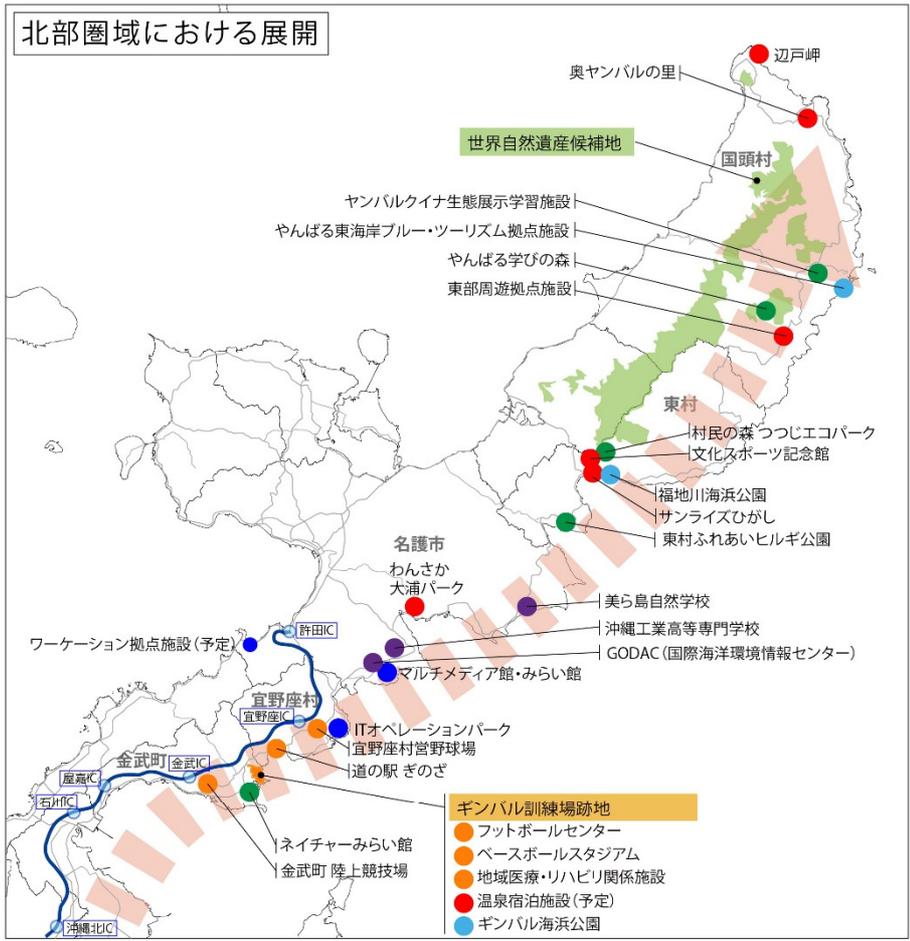
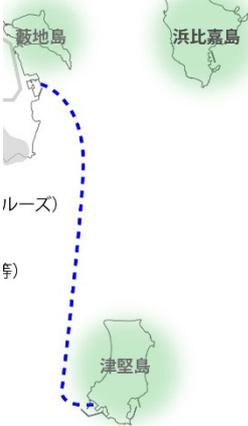
(IT イノベーション拠点の形成)

- 環金武湾地域の宜野座村で IT オペレーションパークを中心に IT 関連企業が集積し、経済金融活性化特別地区に指定されている名護市においては、マルチメディア館・みらい館を中心に情報通信・金融関連企業が集積するなど、産業基盤整備が進められている。
- 東海岸地域一帯に連なる、イノベーション拠点の形成、高度化を図るため、IT 津梁パークのみならず、環金武湾に広がる IT 産業の拠点などを結ぶ、自動運転等の先端技術を活用した実証の場「IT イノベーションロード」の形成を図る。
- 近年、スモールオフィスのニーズが高まっていることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた新しい働き方に対応し、テレワーキング環境の充実強化・活用を推進するとともに、地域の魅力を生かしワーケーションと連動した企業誘致を推進する。
- また、中南部地域の IT イノベーション拠点との連携や、情報通信分野など高度な人材育成を行っている沖縄高等専門学校などと連携した取組により、新事業の創出やイノベーションの創出などの展開が期待される。

(円滑な交通ネットワークの形成)

- 北部圏域の東海岸地域においても、観光シーズンや通勤通学時間帯において、インターチェンジ周辺で交通渋滞が発生しており、中南部圏域や西海岸地域との連携強化を図るハシゴ道路ネットワークの拡充に向けた取組など、円滑な交通ネットワークの構築が重要である。
- サイクルツーリズムや自転車による観光客の移動のニーズは高まっており、海中道路から北部地域まで快適に移動できる自転車通行空間の整備を推進する。
- 近年、5G といった新たな通信技術の発展や自動運転の技術の実証実験の展開、MaaS (Mobility as a Service) にみられるように人の移動にも変革が起き始めている。東海岸地域において、利用者が移動手段を効率よく選択し、目的地まで快適に移動できるモビリティシステムを構築するため、こうした新技術を実装する社会基盤の形成を推進する。





凡 例					
●	観光・商業関連	●	マリーナ、ビーチ等	—	主要道路(整備済)
●	自然・歴史・文化関連	●	島しょ	- - - -	主要道路(事業実施中)
●	スポーツ・健康関連	- - - -	離島航路	○ ○ ○	主要道路(計画・構想段階)
●	学術関連	○	IC(整備済み)	—	高規格幹線道路(整備済)
●	産業・IT関連	○	IC(事業中、計画・構想)	—	高規格幹線道路(事業実施中)
●	農水産業関連				

東海岸サンライズベルト構想

- 概要版 -

令和3年3月

沖縄県
